

# 第74回 日本消防協会定例表彰 表彰旗は喜多方市消防団



第七十四回日本消防協会定例表彰式は令和四年三月四日(金)に行われ、表彰されたのは特別表彰まとい一〇団、特別功労章一〇名、表彰旗三五団、竿頭綴九一団、功績章九二二名、精積

章二、二二三名、勤続章八、四四四名、婦人消防隊表彰旗六名、婦人消防隊員功績章一一〇名、永年勤続職員五名で、本県関係の受賞者等は次のとおりです。



閉会の辞を述べる福島会長

- 表彰旗 (一団) 喜多方市消防団
- 竿頭綴 (三団) 桑折町消防団 矢祭町消防団 只見町消防団
- 功績章 (三四名) 柳津町消防団 団長 鈴木 東作他
- 精積章 (八三名) 浅川町消防団 副団長 八木沼 修他
- 勤続章 (二六八名) 相馬市消防団 分団長 豊田 光信他

## 表彰旗伝達



日本消防協会定例表彰において、喜多方市消防団に表彰旗が授与されましたが、表彰式が規模縮小により行われたため、三月十六日に日本消防協会の副会長でもある福島会長より、喜多方市消防団に表彰旗と表彰旗をお渡しいたしました。

喜多方市消防団は日頃の災害のない安全な町づくりのため、自主的な防火・防災活動、団員を講師とした各種講習や防災訓練に積極的に取り組むとともに、小型動力ポンプ付き消防車両の配備による機動力を活かした消防力の向上を図っていることが高く評価されたものです。



令和三年十一月十日(水)・十一日(木)の二日間、令和三年度訓練指導員研修を県営あづま総合体育館の研修室及びサブアリーナで開催しました。研修には県内二十一消防団から二十六名が参加しました。

今年度の研修は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年開催してきた県消防学校が使用できず、マスク、検温、手指消毒を徹底して、新しい生活様式を踏まえた研修となりました。

研修の第一日目は、消防協会事務局より、福島県消防協会の事業等についてを説明し、次に、「消防団の事故対策」について講義が行われました。

## 令和三年度 訓練指導員研修

十一月十日	午前	福島県消防協会の事業等について	消防協会事務局
	午後	消防団員の事故対策	福島県消防学校 専門教務主任 榑井正博
十一月十一日	午前	訓練礼式 (座学)	福島県消防学校 教務課長 鈴木一弘 越尾吉美
	午後	応急手当	福島県消防学校 専門教務主任 遠藤 歩
十一月十一日	午前	訓練礼式 (実技)	福島県消防学校 教務課長 鈴木一弘 越尾吉美
	午後	福島県の消防行政の課題	福島県消防保安課 主任主査 伊藤美千彦
		現場指揮	福島県消防学校 専門教務主任 榑井正博

午後からは、「訓練礼式(座学)」、続けて「応急手当の指導を受けました。第二日目は、「訓練礼式(実技)」が行われ、午後は、「福島県の消防行政の課題」について、次に、「現場指揮」について、図上訓練を交えて講義を受けました。

訓練指導員研修での図上訓練は今回が初めての試みとなり、受講生も火災現場における安全管理について、理解を深めたようです。

研修の全科目が終了後、福島啓副会長が研修生一人一人に修了証書と指導員章を授与し、最後に、総代を務めた浅川町消防団 川音賢一副団長が挨拶を行い、研修会の全日程が終了しました。



編集者 福島市中町五番二十一号 福島県消防会館内  
公益財団法人 福島県消防協会  
印刷人 福島市南矢野目字萩ノ目裏一丁目 村山 広一  
電話(福島) (553) 四六〇〇

おうち時間  
家族で点検  
火の始末  
令和三年度全国統一防火標語



福島県消防協会公式HP  
http://zfsk.or.jp/

第二十二回

「防火防災に関する」作文コンクール

生活協同組合全日本消防人共済会では、毎年全国の中学生を対象とした

入選作品紹介

「経験者の私だから出来ること」

須賀川市立第一中学校

二年 小林 心結

昨年十二月のクリスマススイブ。私の住んできた家を含めて六件の家屋が火事によって全焼しました。時間は真夜中の一時を回っていたことや、他の地域でも火災があった事が重なり、何度通報してもすぐに消防車は来ませんでした。小さい頃から住んでいた家、家族との思い出。たくさん物全てを一瞬にして失った私は「なんでこんな目に合わなければいけないのだろう」と頭も心の中も真っ白になってしまいました。

そんな経験から、私や家族の火災への意識は一気に変わりました。寝る前の火の元の確認をいつも以上に行い、発火元となりかねないコンセント類の確認も怠らないようにしました。

しかし、それだけで火事を防ぐことは出来ません。少子高齢

「防火防災に関する作文コンクール」を行っていきます。全日本消防人共済会

化が進んでいる現在では、私の地域でもそれ以外でもご高齢の方が一人で住む家が多くなっています。さらに身体の不自由な高齢者の方が一人で住んでいる場合だけだけだけ配っていても、火事が起こる確率はどうしても大きくなると思います。そこで私が考えたのは、「自分が消防団員になったつもりで地域の方への声掛けや気配りを積極的に言う」という事です。

まず、日頃の挨拶からでも地域の方との距離を縮め、繋がりを持つことができ、いざと言う時の対処や情報共有がしやすくなります。たった一言、

「こんにちは！最近乾燥してるから火の元、気をつけてくださいね！」

挨拶にこう付け加えるだけで、近所の方とのコミュニケーションを深め、さらに地域全体で防火に対する意識を高めることが出来ると思います。

消防団の方も消防士の方も無数に居るわけではありません。私の家の事例のように、いくつかの火災が重なってしまえば全てを鎮火で

で厳正な審査を行った結果、本県から推薦した須賀川市立第一中学校二年小林心結さんの作品が入選(佳作)いたしました。

きる可能性はどうしても下がってしまいます。そんな時、誰を責めても仕方がない。そんな苦しい想いを少しでも減らせるように、日頃から自分が出来る防火、防災の心がけを地域に広めて行く事が必要です。

辛く悲しい経験をした私だからこそ、火事の本当の恐ろしさを知る私だからこそできる防火対策。それは、普段から自分自身も十分に気を付け、家族はもちろん、近所の方達、高齢者への声掛けなど地域の方との関り合いを深められる行動を積極的にしていくことと思っています。火災が起きてからでは遅いのです。

ぜひ、皆さんのご近所の方や、皆さんのおじいちゃん、おばあちゃんへの日頃の挨拶に加えて、防火、防災を促す言葉を伝えてみてください。そうすることで守れる命や大切な物が増えていくことでしょう。

これで私も皆さんも、今日この瞬間から地域を守る消防団員の一員です！

消防設備総合メンテナンス キンパイホース・消火器・避難器具 火災報知設備 スノーラップ その他消防用品一式 (有)東北防災センター 代表 夏井一樹 本社 福島市入江町5-7 ☎024(634)3389・2540

民間車検場 和田自動車株式会社 WADA JIDOSHYA CO.,LTD. 郡山市田村町金屋字孫右エ門平57番地 〒963-0725 TEL 024(943)3400(代) FAX 024(943)3873

安全と防災 総合安全設備 総合防災設備 消防標識 カープミラー 道路安全用品 防災用品 反射テープ加工 各種標識 各種消火器 各種作業服 TORI トーアン株式会社 ☎963-0215 郡山市待池台1丁目55-37 ☎024(936)2050(代)

福島消防資材株式会社 トーハツ消防ポンプ・モリタ式自動車ポンプ・ジェットホース・キンパイホース・消火器・避難器具・火災報知機・漏電警報機 福島市五月町八一三七 ☎〇二四一五二一五五五

ニッキ消防ポンプ キンパイホース 東部産業株式会社自動車部 シバウラ小型ポンプ いわき市内郷綴町金谷15番地4 ☎0246(26)5401 代表取締役 菊池一隆

(有)渡辺鉄工消防用品 田村市船引町北町通47 ☎〇二四七(8)〇〇七二

株式会社 ホシノ 会津若松市材木町 一丁目十番二十二号 ☎会津若松(26)五六〇〇 郡山支店

株式会社 甲成 本社 / 〒971-8122 福島県いわき市小名浜浜城字塚前23-1 TEL 0246-58-0047(代) FAX 0246-58-0080 代表取締役 鈴木庸平 ●雄大な自然都市いわき ●躍動するネットワーク都市いわき ●のびのび快適生活都市いわき

令和三年 秋の叙勲(消防関係)

全国の受章者は、六一三名(瑞宝中 綬章二名、瑞宝小綬章二七名、旭日双 光章六名、瑞宝双光章五五名、瑞宝単 光章五二三名)となっています。(発 令三・一一・三三)

- 瑞宝単光章(二八名 敬称等略)
元いわき市消防団 分団長 遠藤 武則
元会津若松市消防団 分団長 大竹 勝美
元本宮市消防団 分団長 國分 良修
元喜多方市消防団 副団長 斎藤 信一
元いわき市消防団 副団長 澤田 満
元白河市消防団 副分団長 柴原 義次
元双葉町消防団 分団長 新家 俊美
元飯野町消防団 分団長 関 榮治
元東和町消防団 分団長 高野弘一郎
元国見町消防団 分団長 高橋 忠一
元いわき市消防団 副分団長 丹野 仁
元西会津町消防団 分団長 新田 博美
元三島町消防団 分団長 二瓶 義徳
元只見町消防団 副団長 本名 誠
元福島市消防団 分団長 三浦 徳也
元古殿町消防団 分団長 水野 久
元郡山市消防団 副分団長 宗像 正
元南相馬市消防団 副団長 吉田 邦彦

令和三年 秋の褒章(消防関係)

全国の受章者は、一〇九名(紅綬褒 章三名、黄綬褒章七名、藍綬褒章九九 名)となっています。(発令三・一一・三三)
福島県関係では、次の方々が受章さ れました。
●藍綬褒章(六名 敬称等略)

第三十六回 危険業務従事者叙勲(消防関係)

全国の受章者は、六一一名(瑞宝双 光章二八五名、瑞宝単光章三三二六名) となっています。(発令三・一一・三三)
福島県関係では、次の方々が受章さ れました。
●瑞宝双光章(一〇名 敬称等略)
元伊達地方消防組合
元白河地方広域市町村圏整備組合
元南会津地方広域市町村圏組合
元福島市
元双葉地方広域市町村圏組合
元郡山地方広域消防組合
元南会津地方広域市町村圏組合
元郡山地方広域消防組合
元須賀川地方広域消防組合

- 元飯館村消防団 副分団長 伊東 勇一
元会津若松市消防団 分団長 慶徳 弘
元南相馬市消防団 副団長 佐藤 弘
元平田村消防団 副団長 澤村 兼人
元天栄村消防団 分団長 常田 広美
元瑞町消防団 副団長 松本 源市
元須賀川地方広域消防組合 消防司令長 増子 捷三
元いわき市 消防司令長 皆川 昌幸
元いわき市 消防司令長 渡部 敏雄
元須賀川地方広域消防組合 消防司令長 鈴木 忠夫
元伊達地方消防組合 消防司令長 阿部 泰
元白河地方広域市町村圏整備組合 消防 大倉 隆
元南会津地方広域市町村圏組合 消防司令長 大橋 通
元福島市 消防 佐藤 正幸
元双葉地方広域市町村圏組合 消防 西村 栄一
元郡山地方広域消防組合 消防 橋本 昭山
元南会津地方広域市町村圏組合 消防司令長 藤澤 勇一
元郡山地方広域消防組合 消防 三浦 恵

令和二年度 女性消防団員等研修

十一月三十日、令和三年度女性消防 団員等研修会を福島市の「パルセいい ざか」において開催しました。

研修会は福島会長のあいさつに続 き、福島県消防学校鈴木一弘教務課長 に「女性消防団員が活躍するため」と 題して、訓練礼式の実技を含めたお 話しをしていただきました。

次に、伊達地方消防組合中央消防署 高橋博美東分署長に「withコロナ の消防団活動」新しい生活様式で の新しい活動方法」と題し、現在の コロナ禍の中での消防団活動の進め方 について、お話しをしていただきまし た。



福島トヨタ 自動車株式会社

福島市太平寺字沖高二五
☎二四一五四六一〇〇〇

(機器協会員)
ISUZU
いすゞ自動車東北株式会社
福島支社 福島市岡島字長岬6-7
☎024(572)3663(代)
福島支店 ☎024(572)6414(代)
郡山支店 ☎0248(72)2020(代)
いわき支店 ☎0246(58)4081(代)
会津支店 ☎0242(24)3455(代)
相双営業所 ☎0244(24)3255(代)
本宮営業所 ☎0243(63)2660(代)
白河営業所 ☎0248(22)7125(代)

(機器協会員)
総合消防設備
消防備品、消防設備点検、防火対象物点検
援護化学株式会社
代表取締役 滝田 吉宏
本社 郡山市函景1丁目17-24
(024)932-0440(代)
営業所 会津若松市建福寺前1-25
(0242)27-1056

(機器協会員)
福島日野自動車株式会社
本社郡山支店
郡山市安積町菅川字田五ノ一
☎02494945(代)一六六五
福島支店
福島市常北二丁目1-1
☎02494933(代)〇三三三
いわき支店
いわき市小名浜島字渡地六番地1
☎0246158(代)八八八一
白河支店
白河市東原大字新橋字榎上東地二一
☎0248154(代)〇三三五
会津営業所
会津若松市神前町大字北四合字横東〇一
☎024117(代)二二三三
相双営業所
相馬市榎木字大岡七二一五
☎024413(代)〇三八五

モリタ式消防ポンプ自動車
シパウラ小型動力ポンプ
消防用設備・設計施工・保守点検

郡山防災センター
(株式会社ホシノ郡山支店)
郡山市久留米三丁目二十七番地
☎二四一九四五一八九九(代表)
(機器協会員)

あらゆるパツチ
盾・トローラー
消防関係記事のご用命は
すべて記念品
当店にどうぞ
有限会社 美光
福島市西中央三丁目一六番一五号
TEL(〇二四)534〇二五五
FAX(〇二四)534六六五七
(機器協会員)

(機器協会員)
MORITA GROUP
普通免許対応車両総重量3.5未満
CD-1型 ミニクルLight
ALTESIMO アルミ製蓄圧式 粉末消火器
人と地球のいのちを守る
MORITA
株式会社モリタ
モリタ宮田工業株式会社
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3丁目8番55号
TEL.022-238-6461
仙台支店
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3丁目8番55号
TEL.022-238-4771
東北営業部

(機器協会員)
トーハツ消防ポンプ
モリタ式自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服
消防用具
金具
器具
火災報知機
避難器具・保護具
その他消防用品一式
(株)磐水社
本社 いわき市平字古鍛冶町4
☎(0246)23-1616(代)
FAX(0246)23-1979
白河営業所
白河市字大島居橋前83-14
☎(0248)23-3600
FAX(0248)23-4134

福島県消防団応援プロジェクト  
**「ふくしま消防団  
 サポート企業」  
 を募集中!!**

詳しくは福島県危機管理部消防保安課までお問い合わせをお願いします。



**火災共済に加入しましょう**

まさかの時にお役に立ちます!



風水雪害や地震等にも共済金や見舞金を支給

お問い合わせ  
 生活協同組合全日本消防人共済会  
 TEL 03-3503-1439 <http://www.shouboujin.or.jp/>

**消防個人年金**

消防団員・消防職員だからこそ加入できる



お問い合わせ  
 (公財)日本消防協会 年金共済部  
 TEL 0120-658-494 <https://nissho.or.jp>

**「Fire エール 五七五」入賞作品決定**

仕事を持ちながら、自分たちの地域を守るため、日夜活動している福島県内の消防団員を応援する「fire エール 五・七・五」を9月1日から11月9日まで募集したところ、111名の方から285作品が寄せられました。本当に多くの作品をお寄せいただきありがとうございます。

入賞作品の選考会を開催し、次のとおり入賞作品が決まりました。

**ふくはっぴい賞**

検閲で  
凜々しい姿  
女性隊  
喜多方市 北のくら人 様

**エール賞**

ありがとう  
えがおをまもる  
しょうぼうだん  
会津若松市 ひさき 様

**あるある賞**

厳寒に  
日差しがうれしい  
出初め式  
伊達市 一番員の妻 様

消防団  
つながるひろがる  
故郷に  
二本松市 オレンジ森之助 様

カッコいい!!  
パトはみんなの  
消防団  
福島市 放水はじめ 様

サイレンに  
俺だけ起きる  
妻寝ごと  
古殿町 ろんでんの悪妻 様

サイレン鳴り  
娘が帽子  
持って来る  
いわき市 アニマル 様

**福島県消防協会の令和4年度主要行事予定**

福島県消防協会の令和3年度第4回理事会が令和4年2月15日(火)にふくしま中町会館6階北会議室において開催され、令和4年度事業計画・収支予算などが決定されました。

令和4年度の主な行事は次のとおりです。

なお、令和4年度の事業計画・収支予算は公式ホームページに掲載します。

令和4年度事業計画 (主要行事)		
6月3日(金)	令和4年度福島県消防殉職者等慰霊祭	須賀川市文化センター
6月4日(土)	第75回福島県消防大会	須賀川市文化センター
6月予定	県協会支部事務連絡会議	未定
7月予定	東北地区消防連絡協議会	福島県
8月28日(日)	第44回福島県消防操法大会	福島県消防学校
9月15日(木)	第41回全国消防殉職者慰霊祭	東京都(ニッショーホール)
10月29日(土)	第29回全国消防操法大会	千葉县市原市
11月22日(火)	第27回全国女性消防団員活性化大会	徳島県徳島市
3月3日(金)	第75回日本消防協会定例表彰式	東京都(ニッショーホール)
未定	令和4年度団長等研修会	未定
未定	令和4年度消防団訓練指導員研修	未定
未定	令和4年度女性消防団員等研修会	未定

(機器協会員)

〈総合防災〉

消火器・シバウラ消防ポンプ・  
 消防ホース・各種消防防災用品・  
 火報設備・避難設備・消防設備  
 保守点検設備

**会星産業株式会社**

白河市古高山3-138  
 ☎0248(22)5504

(機器協会員)

**NIKKI の消防自動車**

日本機械工業株式会社  
 仙台営業所 仙台市青葉区1丁目10番36号  
 TEL 022-222-8831  
 FAX 022-223-6660

—— 福島県下代理店 ——  
 東部産業(株)自動車部  
 いわき市(26)5401  
 和田自動車(株)郡山市(943)3400  
 (有)豊和防災サービス  
 会津若松市(27)7878

(機器協会員)

**会津消防用品株式会社**

会津若松市松町二一四一  
 ☎会津若松☎五一五一

消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ・  
 消防ホース・消火器・防火衣・  
 火災報知設備・積載車艙装  
 消防設備保守点検

(機器協会員)

福島県知事許可  
 総合防災設備設計・施工・  
 保守点検・消防資材一式・  
 他弱電工事

**明和電気防災(株)**

福島市上鳥渡沢沢22-3  
 ☎(024)593-2131